









# 厚生センター他自動火災報知設備補修工事

件名	厚生センター他自動火災報知設備補修工事					図面No.	1/7
図名	表紙					縮尺	—
業務隊長	管理科長	當班班長	電気係長	施設管理主任	管財係	電気係	設計者
							
陸上自衛隊 都城駐屯地業務隊						令和4年10月14日	

# 仕様書

- 1 工事件名 厚生センター他自動火災報知設備補修工事
- 2 工事場所 宮崎県都城市久保原町1街区12号 陸上自衛隊 厚生センター及び通信所
- 3 工事概要
  - (1) 自動火災報知設備補修・・・一式
  - (2) 作動試験・・・・・・・・・・一式
  - (3) 官庁申請・・・・・・・・・・一式
- 4 一般事項
  - (1) 本件において図面及び特記仕様書に記載なき事項は、次の国土交通省大臣官房官庁営繕部制定標準仕様書による。
    - ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)平成31年版
    - ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)平成31年版
  - (2) 本件に際し疑義を生じた場合は、監督官と協議しその指示に従うものとする。
  - (3) 本件に際し、仕様書に記載なき事項で取合以上及び技術的に当然施工すべき事項については、請負者の責任において施工するものとする。
  - (4) 本件に際し、他の構造物等に損傷を与えないよう十分注意するものとし、万一損傷を与えた場合は、請負者の責任において原形復旧するものとする。
  - (5) 本件に際し、事故・火災防止及び第三者への被害等の安全管理には十分注意するものとし、万一災害等が発生した場合は、請負者の責任において処置するとともに、速やかに監督官に報告するものとする。
  - (6) 本件に必要な電気及び水は請負者が負担するものとする。
  - (7) 本件の工事写真は、施工前、施工中、施工後、主要な工事段階毎、隠蔽箇所、完成検査状況、消防検査状況、すべての使用材料、発生材の搬入集積状況及び監督官の指示する箇所を撮影し、工事写真台帳(A4版)に整理の上、監督官に提出するものとする。なお、写真データは工事完了後確実に破棄するものとする。
  - (8) 本件に際し、監督官が指示した書類は速やかに作成し提出するものとする。
  - (9) 本件に使用する材料は全て新品とし、監督官の検査を受け合格後使用するものとする。
  - (10) 本件で発生する発生材は、金属類については重量を測定の上、発生材報告書・調書を作成し監督官に提出するものとし、その他の産業廃棄物は分別の上、監督官へ引渡すものとする。写しを監督官に提出するものとする。
  - (11) 作業終了時は、現場の清掃及び片付けを実施するものとする。
  - (12) 本仕様書に記載されている寸法等は近似値であるため、施工に先立ち原寸を確認するものとする。
  - (13) 請負者は作業開始前に危険予知活動(KY・TBM)を実施し、安全管理を徹底するものとする。
  - (14) 提出書類
    - ア 請負者は、請負契約後速やかに次の書類を監督官へ提出するものとする。
      - 施工計画書、施工体制台帳(建設業許可通知書の写しを含む。(下請負者共))、施工体系図、計画工程表、現場代理人等通知書、承認図(納入仕様書)、工事整備対象設備等着工届出書(写)及びその他監督官が指示した書類
    - イ 請負者は、着工後速やかに着工届を監督官へ提出するものとする。
    - ウ 請負者は、都城市消防局が実施する検査終了後速やかに次の書類を監督官へ提出するものとする。
      - 消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出書・検査済証(正・写)、完成届、実施工程表、工事写真台帳、出荷証明書、発生材報告書・調書及びその他監督官が指示した書類

- 5 特記事項
  - (1) 官庁申請
 

本件に際し、請負者の責任において、都城市消防局へ工事整備対象設備等着工届出書及び消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出書を作成、提出するとともに、都城市消防局が実施する検査に立会うものとする。なお、作動試験時(試運転調整時)に別途費用を要する修繕箇所が確認された場合は、速やかに書面にて監督官へ報告し、その際、見積書を添付するものとする。
  - (2) 消防施設工事
    - ア 厚生センター
 

本件で使用する自動火災報知設備の仕様は、次に示す既存機器と互換性があるものとする。

名 称	製造所名	型式番号
受信機 蓄積式 P型1級 10回線	ホーチキ株式会社	受第2～29号
副受信機 10回線	ホーチキ株式会社	
    - イ 通信所
 

本件で使用する自動火災報知設備の仕様は、次に示す既存機器と互換性があるものとする。

名 称	製造所名	型式番号
受信機 蓄積式 P型2級 5回線	ニッタン株式会社	受第17～1号
  - (3) 電気工事
 

自動火災報知設備の電気・通信配線は既存を再使用するものとし、軽微な補修は請負者の負担において実施するものとする。

- 6 防火対象物の詳細
  - (1) 厚生センター
    - ア 名称
 

体育館・厚生センター
    - イ 用途
 

消防法施行令別表第一 十五 項
    - ウ 構造・規模
 

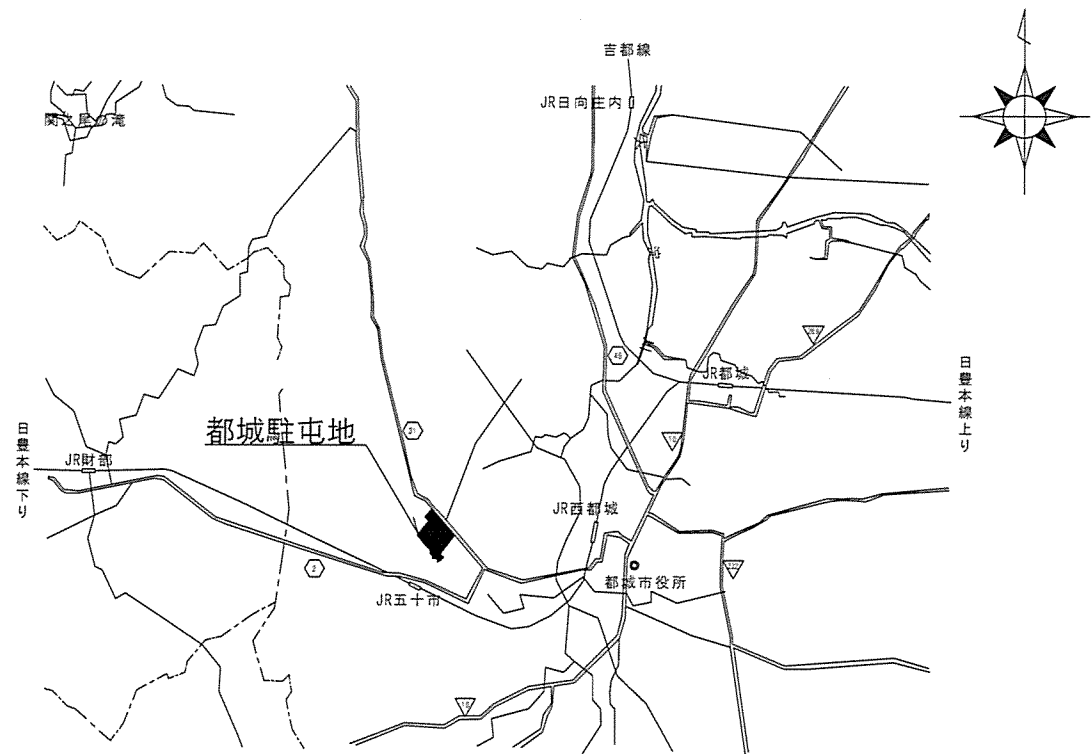
耐火造地上3階 延べ面積3178.24m<sup>2</sup>
  - (2) 通信所
    - ア 名称
 

局 舎
    - イ 用途
 

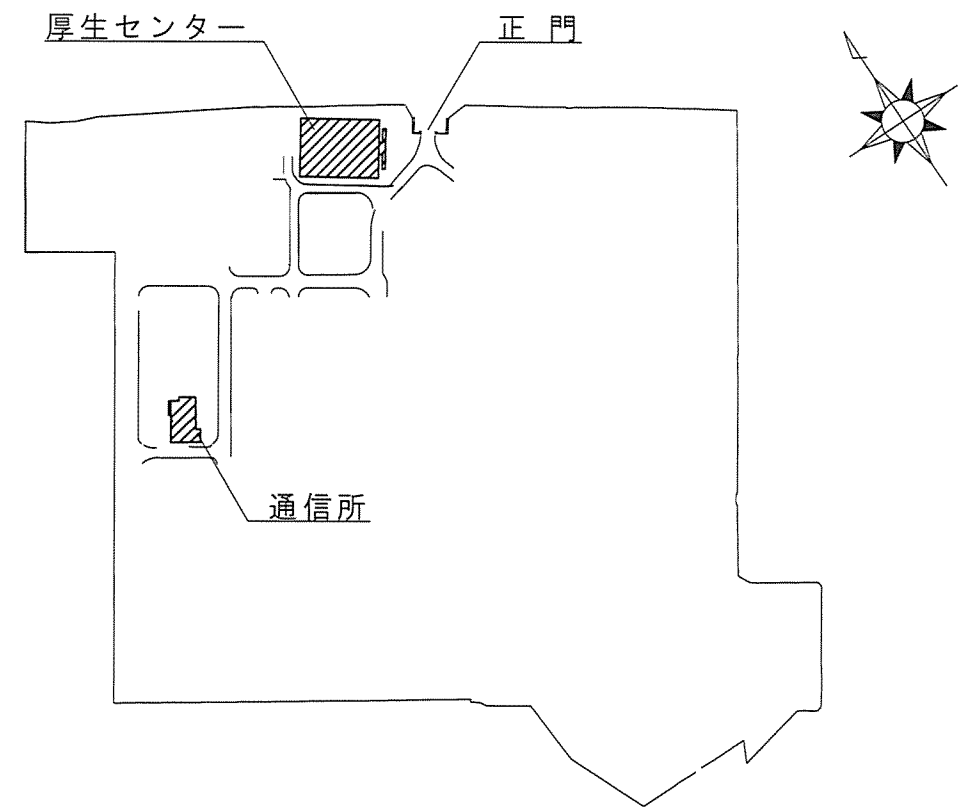
消防法施行令別表第一 十五 項
    - ウ 構造・規模
 

耐火造地上1階 延べ面積303.67m<sup>2</sup>

件 名	厚生センター他自動火災報知設備補修工事	図面No.	2/7
図 名	仕 様 書	縮 尺	—
陸上自衛隊 都城駐屯地業務隊		令和4年10月14日	

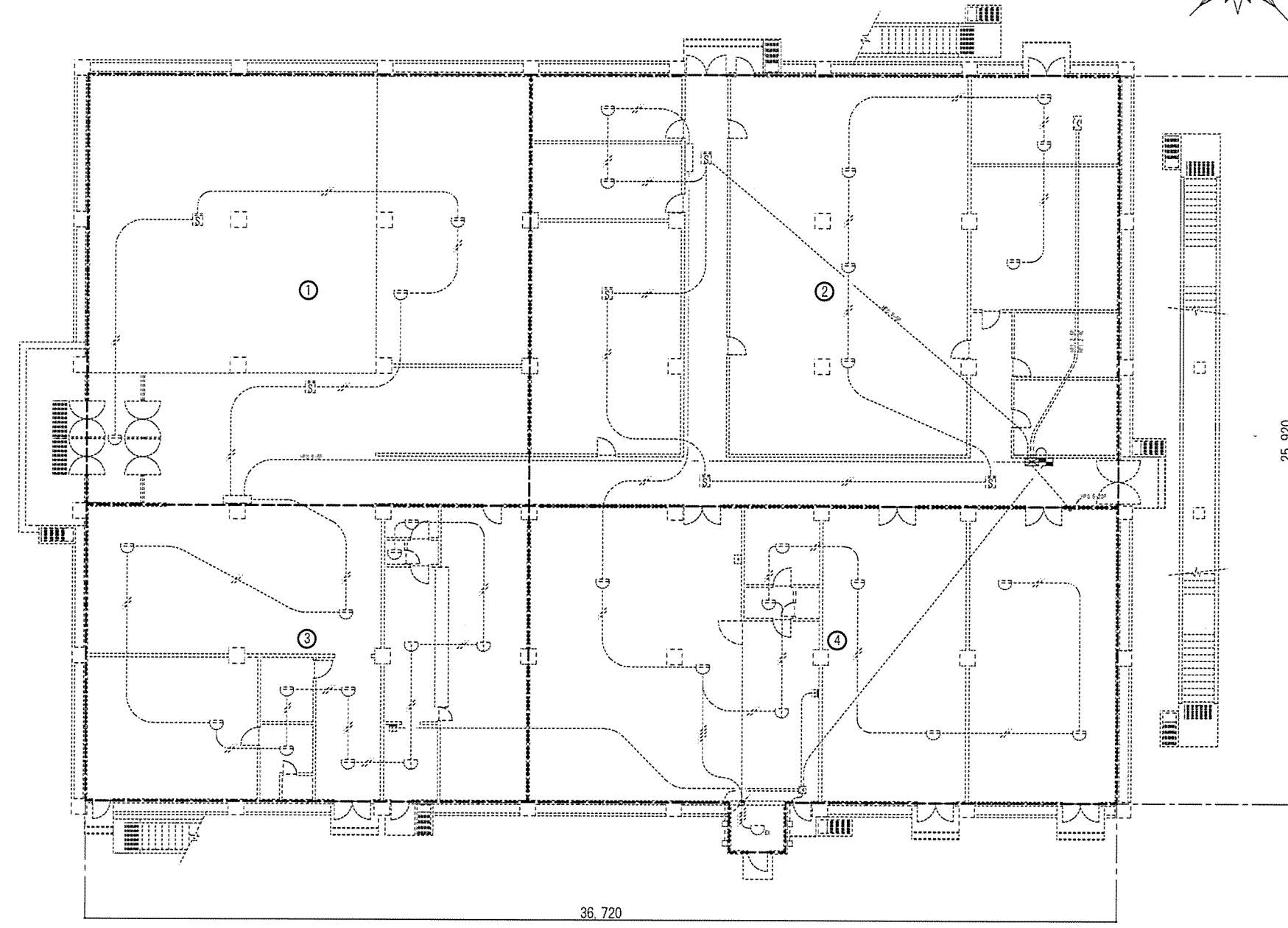
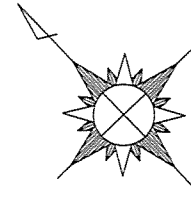


案内図



配置図

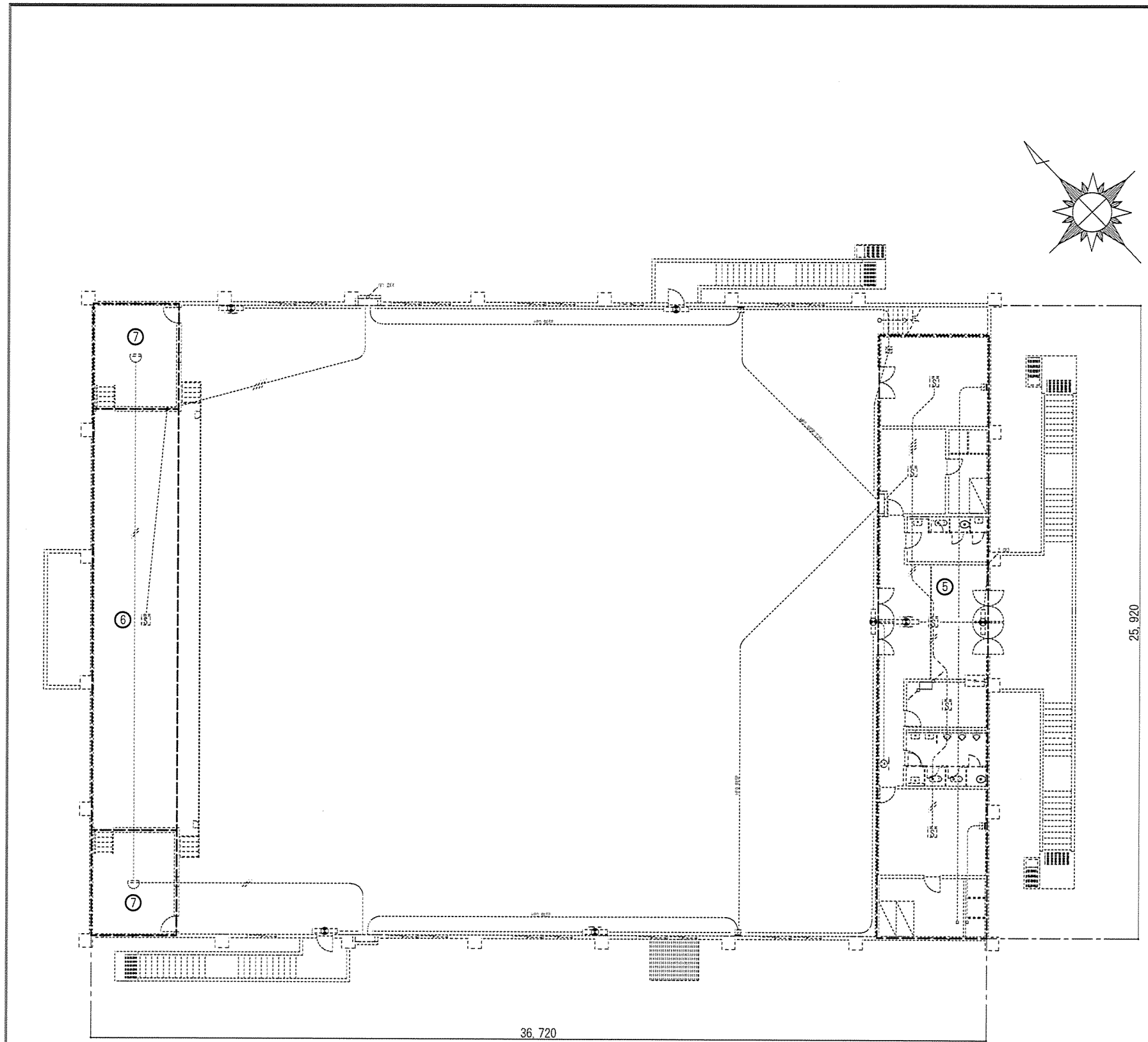
件名	厚生センター他自動火災報知設備補修工事	図面No.	3/7
図名	案内図/配置図	縮尺	1/X
陸上自衛隊 都城駐屯地業務隊		令和4年10月14日	



【凡例】

記号	名称	摘要	備考
☒	受信機	撤去新設	P型1級10L
☒	警報盤	既存のまま	5L
☐	機器収容箱	既存のまま	横型露出 (P)(B)内蔵
(P)	発信機	既存のまま	P型1級
(●)	表示灯	既存のまま	AC24V
(B)	電鈴	既存のまま	150m/m径
☐	スポット型感知器(確認灯付)	既存のまま	差動式 2種 露出
☐	スポット型感知器(確認灯付)	既存のまま	定温式 1種
☐EX	スポット型感知器	既存のまま	定温式 1種 防爆型 露出
☐S	煙感知器(確認灯付)	既存のまま	光電式 2種
—	警戒区域境界線		
(NO)	火報警戒区域番号		
—	シーリングフィッティング	既存のまま	
—	立上げ		
—	1.2×2	既存のまま	
—	1.2×4	既存のまま	
☒	別途機器	既存のまま	
☐	ジョイントボックス	既存のまま	壁付け
☒	ジョイントボックス	既存のまま	天井内

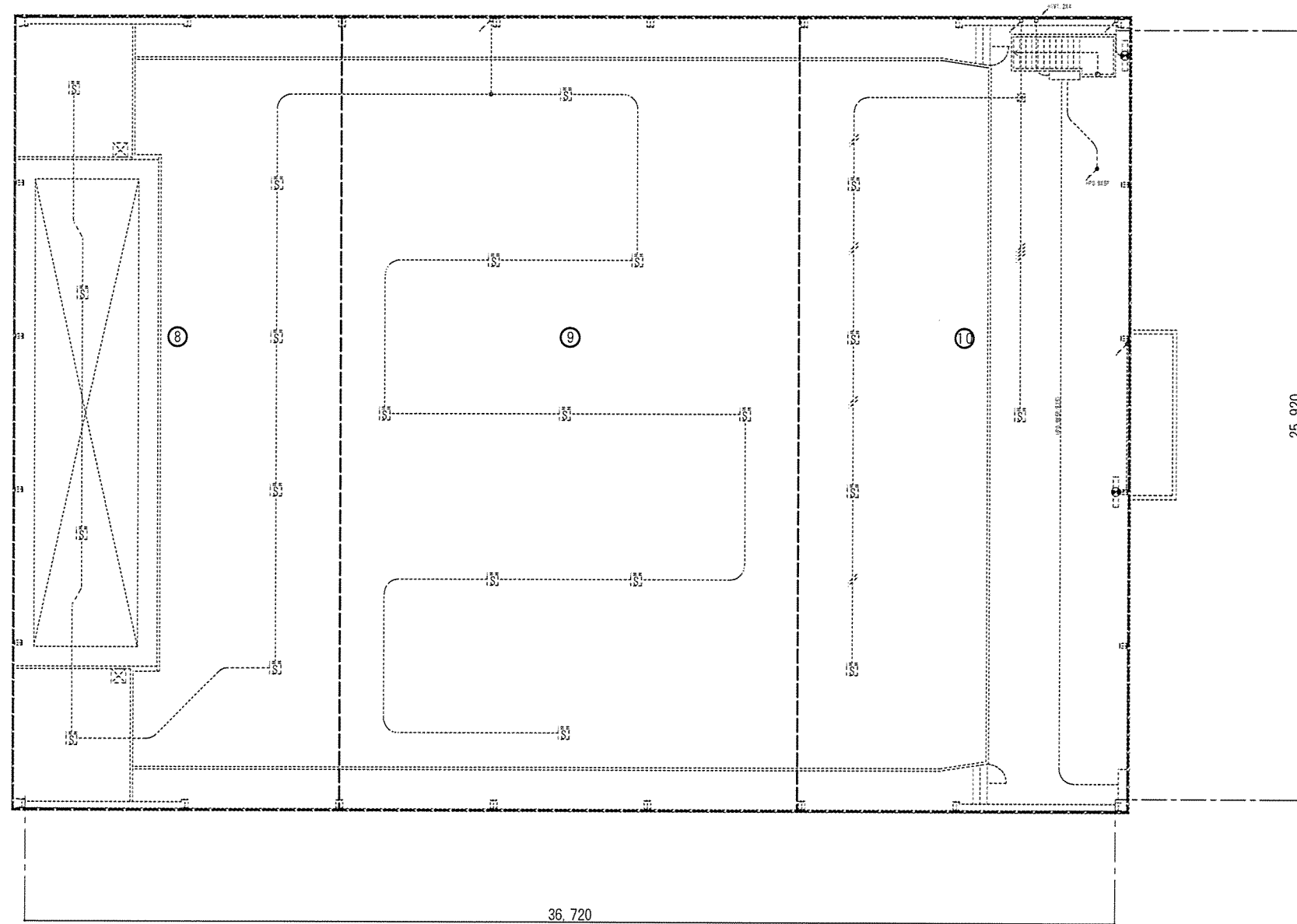
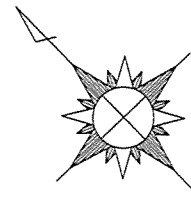
件名	厚生センター他自動火災報知設備補修工事	図面No.	4/7
図名	厚生センター1階防災設備配線図	縮尺	1/200
陸上自衛隊 都城駐屯地業務隊		令和4年10月14日	



【凡例】

記号	名称	摘要	備考
☐	副受信機	撤去新設	P型1級10L
☐	機器収容箱	既存のまま	消火栓組込 (P)(B)内蔵
Ⓟ	発信機	既存のまま	P型1級
Ⓢ	表示灯	既存のまま	AC24V
Ⓡ	電鈴	既存のまま	150m/m径
Ⓢ	スポット型感知器(確認灯付)	既存のまま	差動式 2種 露出
Ⓢ	煙感知器(確認灯付)	既存のまま	光電式 2種
Ⓢ	避難口誘導灯	既存のまま	FL20W-1 (BT内蔵)
Ⓢ	通路誘導灯	既存のまま	FL10/20W-1 (BT内蔵)
—	警戒区域境界線		
Ⓢ	火報警戒区域番号		
Ⓢ	立上げ・引下げ		
—	1.2×2	既存のまま	
—	1.2×4	既存のまま	

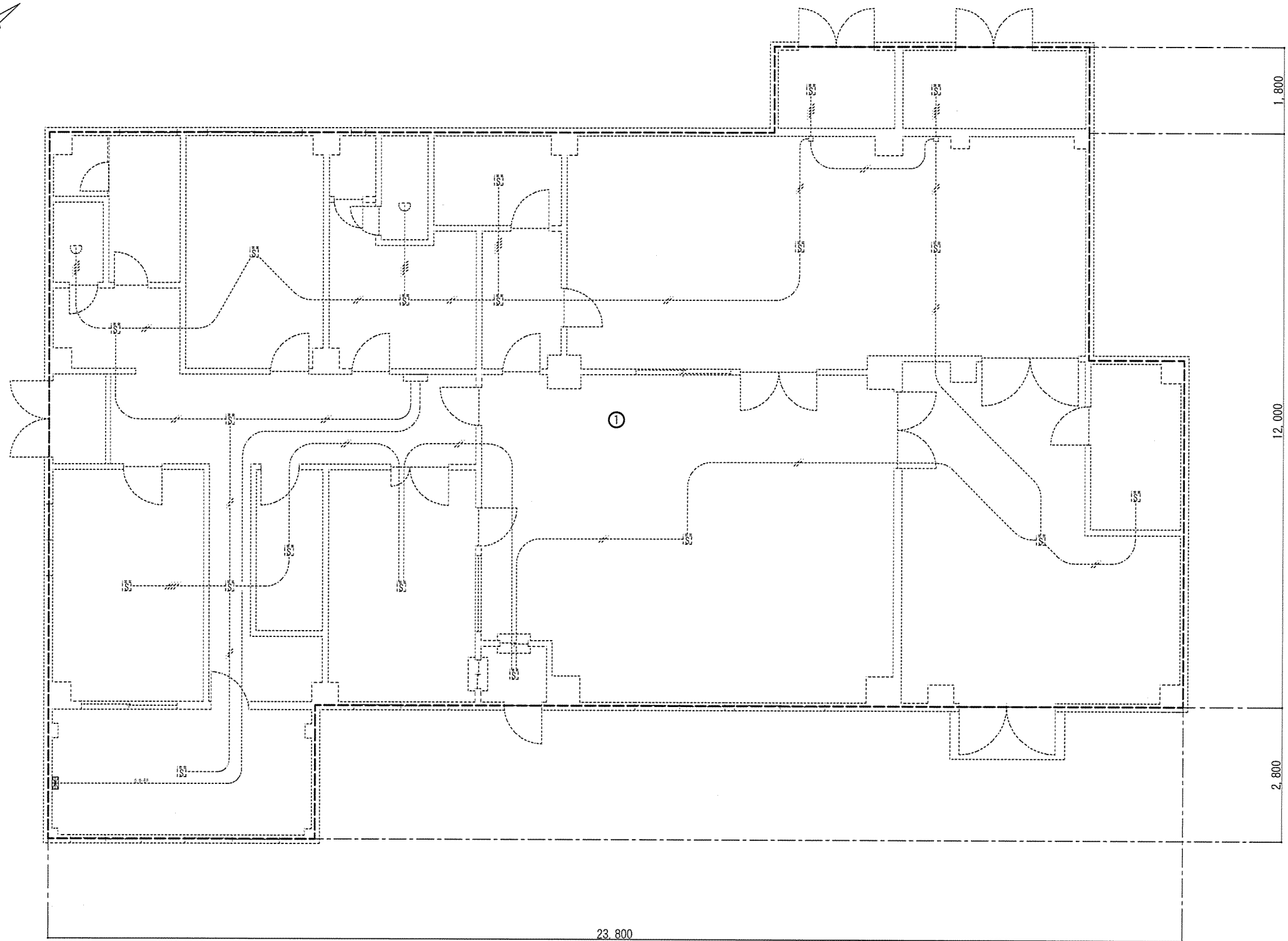
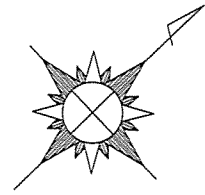
件名	厚生センター他自動火災報知設備補修工事	図面No.	5/7
図名	厚生センター2階防災設備配線図	縮尺	1/200
陸上自衛隊 都城駐屯地業務隊			令和4年10月14日



【凡例】

記号	名称	摘要	備考
	機器収容箱	既存のまま	消火栓組込 (P)(B)内蔵
	発信機	既存のまま	P型1級
	表示灯	既存のまま	AC24V
	電鈴	既存のまま	150m/m径
	煙感知器(確認灯付)	既存のまま	光電式2種
	避難口誘導灯	既存のまま	FL20W-1(BT内蔵)
	警戒区域境界線		
	火報警戒区域番号		
	引下げ		
	1.2×2	既存のまま	
	1.2×4	既存のまま	

件名	厚生センター他自動火災報知設備補修工事	図面No.	6/7
図名	厚生センター3階防災設備配線図	縮尺	1/200
陸上自衛隊 都城駐屯地業務隊			令和4年10月14日



【凡例】

記号	名称	摘要	備考
☒	受信機	撤去新設	P型2級5L
□	機器収容箱	既存のまま	横型露出 (P)(B)内蔵
Ⓟ	発信機	既存のまま	P型2級
●	表示灯	既存のまま	AC24V
Ⓟ	電鈴	既存のまま	150m/m径
Ⓟ	スポット型感知器(確認灯付)	既存のまま	定温式1種
Ⓟ	煙感知器(確認灯付)	既存のまま	光電式2種
—	警戒区域境界線		
⑩	火報警戒区域番号		
—	1.2×2	既存のまま	
—	1.2×4	既存のまま	

件名	厚生センター他自動火災報知設備補修工事	図面No.	7/7
図名	通信所1階防災設備配線図	縮尺	1/100
陸上自衛隊 都城駐屯地業務隊		令和4年10月14日	